

東京の介護って すばらしい グランプリ 2026

テーマ

もっと伝えたい 介護の魅力

多様な介護の現場から「笑顔」を届ける、
年に一度のグランプリ！
東京都の介護の魅力を広く発信するため、
今年も開催します。
介護施設関係者はもちろん、
ご利用者・ご家族・地域の皆さまなど、
介護に関わるすべてのの方々の
ご応募をお待ちしています。



最優秀賞 5万円

応募期間 2026年9月29日(火)～2026年12月1日(火)

募集部門 イベント部門 / 写真部門 / コラム部門 / レシピ部門

賞金 最優秀賞5万円/ 優秀賞3万円/ 入賞1万円 ※部門ごとに決定します。※各部門、最優秀賞1作、優秀賞2作、入賞3作の予定です。

応募資格 東京の介護の魅力を伝えたい方ならどなたでも(ご利用者・ご家族・一般の方・職員など)

応募方法 特設サイトの応募フォームからご応募ください。

発表 各部門の受賞作品は、2027年3月上旬頃、特設サイトにて発表・掲載を行います。

※受賞施設には後日取材し、広報誌等で取り上げさせていただく場合があります。

特設サイト：開催概要・応募フォーム・過去の受賞作品がご覧いただけます。
詳細は随時特設サイトとSNSでお知らせします！

問い合わせ 東京の介護ってすばらしいグランプリ2026

主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会(情報・広報室)

事務局：社会福祉法人東京都社会福祉協議会福祉部高齢担当URL <https://koureikyo.com/> メール tokyokaigo-gp1111@ifys.co.jp



YouTube、
Facebook、
Instagram、
Xやってます！



イベント部門

- 募集テーマ 介護の魅力が伝わる企画を募集します。2023年4月～2027年3月に開催済み・開催予定のイベントが応募可能です。大がかりなイベントでなくても、参加者への想いや工夫が伝わる企画をお待ちしています。
- 応募方法 応募フォームに必要事項と以下の内容を入力してください。
イベントタイトル/目的と期待される効果/参加対象者/企画内容/必要スタッフ数/物品/安全対策 など
例) 地域住民も参加できる懐かしい映画の上映会を開催し、利用者と地域住民の交流が生まれた企画
- 審査のポイント 募集テーマに沿った企画、目的と内容の一貫性、参加する方が安全に楽しめること、地域や参加者に良い変化を生むこと など

写真部門

- 募集テーマ 介護の魅力が伝わる写真を募集します。特別な演出や高価なカメラは必要ありません。スマートフォンで撮影した、いつもの暮らしの中の心温まる一瞬もすてきな応募作品になります。
- 応募方法 応募フォームに写真をアップロードし、必要事項を入力してください。
例) 初めて「できた!」場面を撮影し、いっつになっても挑戦する喜びと見守っていた周囲の笑顔を伝える一枚
- 審査のポイント 募集テーマに沿った写真、タイトル・説明文から想いが伝わること、笑顔やふれあいが自然に表現されていること、写真を通じて介護の魅力を感じられること など

レシピ部門

- 募集テーマ 高齢者に喜ばれる工夫のある介護食を募集します。難しい調理技術は必要ありません。いつもの献立、行事の日の一品、思い出の味など、高齢者を想って生まれたレシピをお待ちしています。
- 応募方法 品数は1品(主菜・副菜・汁物などジャンルは問いません)。応募フォームに調理工程が分かる写真をアップロードし、必要事項を入力してください。
例)「あなかけ肉じゃが」肉じゃがをやわらかく煮込み、とろみをつけて高齢者が食べやすいよう工夫したレシピ
- 審査のポイント 募集テーマに沿ったレシピ、身近な材料や器具で作りやすいこと、高齢者が喜び工夫があること、盛り付けが魅力的で調理工程がわかりやすいこと など

コラム部門

- 募集テーマ 介護の魅力を感じた出来事や思いをエピソードや文章にしてご応募ください。忘れられない一言、心に残った出来事、介護を通じて気づいたことなど、ご自身の言葉でつづった1,000文字以内の物語をお寄せください。
- 応募方法 応募フォームに必要事項を入力してください。コラムのテキストは1,000文字以内でお願いします。
例)「家に帰りたい」という利用者の言葉をきっかけに、それがこれまでの暮らしや居場所を求める気持ちだと気づいた。相手の想いに寄り添うことの大切さを実感したエピソード
- 審査のポイント 読む人の心が動く内容であること、タイトルに沿った内容であること、出来事や想いがわかりやすく伝わること、応募者ならではの視点があること、介護への関心や理解につながること など

特設サイト

2026年12月1日(火)までに

特設サイト上の応募フォームよりご応募ください。

<https://koureikyoku.com/>



昨年の受賞作



イベント部門 最優秀賞

やさしさ探検隊!ふくし
×ゴミ拾いで
地域のヒーローになるう!

昨年の受賞作



写真部門 最優秀賞

えい!やー!!

昨年の受賞作



レシピ部門 最優秀賞

筑前煮まんじゅう

昨年の受賞作

コラム部門 最優秀賞

「その『なぜ』の先に」

審査員

審査委員長 / 水野 敬生

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会情報・広報室長、公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 元広報委員長、社会福祉法人一誠会 常務理事・統括施設長



写真部門 / 近藤 浩紀

フリーランスフォトグラファー。福祉業界の行政、企業、社会福祉法人を中心に、イベント、雑誌、ホームページ用写真、プロフィール写真などの撮影を手がける。ライフワークとして自然風景の撮影も行い、国内外の写真コンテストで受賞歴あり。



コラム部門 / 町 亜聖

フリーアナウンサー/元ヤングケアラー。東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会アンバサダー。高校3年の時に母がくも膜下出血で倒れ車椅子生活に。母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた「十年介護」(小学館文庫)、全てのケアラーのための「読むピアサポート」新刊「受援力」(法研)を出版。

イベント部門 / 中浜 崇之

株式会社Salud 代表取締役/東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会情報・広報室 アドバイザー 介護福祉士として特養やデイサービスで現場職や管理者として勤務。またNPO法人Ubdobeでも、理事として自治体や企業とともにイベント・デザイン等の企画・ディレクションを行う。



写真部門 / 伊藤 朋春

福祉関連の執筆、非常勤講師、介護支援専門員、相談支援専門員として現場業務および都内在宅介護事業所の居宅支援部の執行責任を担う。写真撮影は、学生の頃から独学で、写真雑誌での掲載、Nikon、Kodak等の写真機材関係等をはじめとするコンテストの入選、入賞多数あり。現在は、カフェ関係のイベント撮影やアンバサダーとして写真を提供している。



レシピ部門 / 志水 香代

千葉県八街市にて「ハシヒロ香房」を運営中。障害有無、ヒトと動物(ペット=家族)の共生が自然と馴染む空間つくりと「食」をいっしょに楽しめるカフェ。全国放送のスイーツには嚙下しに優しくもみんながたべて美味しいインクルーシブスイーツをご用意しております。

イベント部門 / 村井 祐一

田園調布学園大学 副学長 人間福祉学部 社会福祉学科 教授。東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会情報・広報室 アドバイザー。社会福祉・保育領域などにおける情報マネジメント技術の向上について研究を行う。



コラム部門 / 山本 梓

フリーランスの編集者・ライター。全日空機内誌「翼の王国」、ライフスタイル誌「トコト」編集部を経て2016年独立。「福祉業界の担い手はクリエイティブ!」とし、全国の福祉施設スタッフとメディアの作成・編集を担うプロジェクトや、介護職員に向けたインタビューの講座などを開いている。



レシピ部門 / 正者 成美

2025年度 東京の介護つてすばらしいグランプリ レシピ部門最優秀賞受賞。

(1)応募作品は応募者本人及び事業所が作成・撮影したオリジナルの作品に限ります。(2)生成AIが作成した文章及び写真をそのまま使用している応募作品については無効とさせていただきます。(3)各部門の各賞発表は2027年3月上旬を予定しております。予めご了承ください。(4)応募資料は原則返却いたしません。(5)応募作品に関して、東京都社会福祉協議会は、無期限で当協会が制作する各種広報物、Webサイトなどのあらゆる媒体にて利用する権利を持つものとします。(6)応募者に対して、東京都高齢者福祉施設協議会が主催、または協力する介護業界のイメージアップにつながるイベント等の参加及び雑誌等取材協力をお願いすることがあります。(7)応募作品に対して発表する権利は、主催者が保有するものとします。(8)ご記入いただいた個人情報は「社会福祉法人東京都社会福祉協議会 個人情報保護規程」に基づき適切に管理するとともに、本件以外の目的では使用いたしません。詳しくは東京都社会福祉協議会ウェブサイトをご覧ください。



Facebook



Instagram



高齢協公式 X
@TokyoKourei



高齢協会長 X
@koureikyoku



東社協東京都高齢者
福祉施設協議会

